

令和6年（2024年）度行政評価シート【個表】

令和 6 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	文化課長 島田 義正	
共生-27	鐺木清方記念美術館管理運営事業	☒ 自治事務	主管課	文化課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	2-(2) 文化	施策の方針	2-(2)-①文化活動の支援・促進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鐺木清方の作品等を展示公開及び維持・管理し、鐺木美術品等の調査及び研究を行うため。
効果	鐺木清方の業績を後世に伝える。市民の教育、学術及び文化の発展に資する。

2 令和5年(2023年)度に実施した事業の概要

・指定管理者制度により、鐺木清方記念美術館の効率的な管理運営を行った。
・指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。
・次期指定管理期間(R6～R10)に向けて指定管理者の選定を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和5年度		令和6年度	達成度
				指標(実績値／目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算／当初)(千円)		予算額(千円)	
01	鐺木清方記念美術館 運営事業	鐺木清方記念美術館 指定管理料	利用者数(人)	17,242 / 20,000	20,000	20,000	86.2%
				47,007 / 47,129	59,820	59,820	
02	鐺木清方記念美術館 維持修繕事業	維持修繕料	-	- / -	-	-	-
				2,078 / 2,500	2,000	2,000	
03	リスク分担金(市民無 料化・インボイス制度 対応)	市民無料化及びインボ イス制度対応に係るリ スク分担金	-	- / -	-	-	-
				624 / 2,823	0	0	
04	鐺木清方記念美術館 指定管理者選定事業	指定管理者選定委員 会報酬	-	- / -	-	-	-
				104 / 156	0	0	
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	49,813 / 52,608	61,820	61,820	
		事業費の合計 (千円)		49,813 / 52,608	61,820	61,820	
		人件費 (千円)		6,077		6,234	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	鎗木清方記念美術館運営事業	令和5年度は、周知やSNS等での情報発信に取り組んだが、来館者数は目標値には届かず、前年度に国内で大規模な鎗木清方展が開催されたことによる揺り戻しが要因であると分析している。	指定管理者の専門性等を生かし、文化活動の支援及び推進に寄与する。	定期的な事務打合せ及び意見交換を継続し、指定管理者と意思疎通を図っていく。
02	鎗木清方記念美術館維持修繕事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	利用者の安全かつ快適な利用の実現のため。	-
03	リスク分担金(市民無料化・インボイス制度対応)	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	より多くの市民に地域の歴史・文化に触れる機会を創出し、次世代へとつないでいくため。	-
04	鎗木清方記念美術館指定管理者選定事業	義務的な支出であり、指標の設定には馴染まない。	指定管理者の専門性等を生かした運営を実現するため。	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	協働実施済の場合のパートナー		市民、市民団体

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
鎗木清方記念美術館は、本市にゆかりのある近代日本画の巨匠、鎗木清方の作品を展示し、その功績を伝える場であり、また、日本画を描くワークショップなどの体験を通し、日本画の伝統を伝えることで、本市の文化振興に寄与している。 令和5年度の来館者数は、目標値及び前年度実績値を下回る結果となった。事業内容などを指定管理者と協議し、充実を図るとともに、効率的な広報に努め、安定した来館者数の確保に努めたい。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	利用料金収入(円)						単位	円
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
指定管理者からの提案による数値目標 (指定管理期間が令和5年度までのため、目標も令和5年度までとしている。)	目標値	5,016,000	5,111,000	5,206,000	5,306,000			
	実績値	1,035,650	2,109,190	5,478,320	4,408,560			
	達成率	20.6%	41.3%	105.2%	83.1%			

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	総来館者数(R4)・1日平均来館者数							
団体名	鎌倉市	萬鉄五郎記念美術館(花巻市)	笠岡市立竹喬美術館	浜松市秋野不矩美術館				
他市実績	17,242人	9,395人	5,882人	22,194人				
	60人／日	46人／日	47人／日	87人／日				

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	楠木清方記念美術館と同様に、一人の画家を主軸とした美術品等の収集及び展示を行う公立施設の状況を把握して、客観的な比較、評価を行っている。 1日の平均来館者数を比較した場合、首都圏域という立地条件を考慮すると、来館者数は更なる増加の余地がある。
--------------------------	--